

会 議 録

☐ 全部記録 ☒ 要点記録

1 会 議 名	令和 4 年度 第 2 回 姫路市総合教育会議
2 開催日時	令和 4 年 11 月 22 日（火）13 時 30 分～14 時 30 分
3 開催場所	姫路市役所 10 階 第 2 会議室
4 出席者又は欠席者名	〔構成員〕 清元市長、西田教育長、森下教育長職務代理者、山下教育委員、角谷教育委員、 中野教育委員 〔関係者〕 横田政策局高等教育・地方創生担当理事、峯野教育次長 〔事務局〕 高等教育室 ：高橋室長、篠原係長、下川主任 教育委員会事務局：平田教育総務部長、竹田教育企画室長、中上総務課長、沖端教職員課長、 森学校指導課長、西川教育研修課長、藤戸育成支援課長、田渕健康教育課係 長、島田総務課係長
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴人 2 名
6 議題又は案件及び結論等	令和 5 年度予算編成における教育委員会関係予算について
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

委員	デジタル教育の推進について、ICT支援員や運用管理SEは、どこかに人を配置して派遣する体制なのか。また、それぞれ何名配置されているのか。
事務局	総合教育センターの中に、運用管理SEを1名、ヘルプデスクを2名配置している。
委員	普段からICT支援員に学校現場を巡回してもらい、タブレットの操作や不具合等で困っている生徒をその場で支援し、授業自体は止めないで進められる体制を整えることが大切である。
事務局	ICT支援員を現在24名配置し、巡回支援を行っている。支援員が不在の際は、ヘルプデスクに問い合わせをもらう体制である。主な支援内容としては、研究会支援（外部配信時の機器の操作支援）、研究協力校支援（協力校として指定した小・中・高校の研究支援。週2回程度訪問。）、定期訪問支援（普段の授業での通信環境不調対応や機器操作が困難な生徒の支援。2週間に1回程度訪問。）である。
委員	システムが大幅に変更になる際は、事前情報の収集による予防策を準備しているのか。
事務局	姫路市はchrome bookを使用しており、OSはGoogleのchromeOSを使用している。Googleは定期的にアップデートを実施しているが、今のところ大きな支障はない。明らかに支障が出る場合は、掲示板で職員に通知している。
教育長	現在、学校では、デジタル教材を常時使用しているわけではないが、今後すべてがデジタル教科書になった場合など、先を見据えて対応できる体制を整えていくことは大切であると認識している。
委員	学校や教員によってデジタル機器の利用頻度や使用能力にばらつきがある。ばらつきをなくすために、教員全体の能力の底上げをすることが必要である。また、教員間で情報交換できる体制があればよいと思う。
事務局	学校間、教員間のデジタルデバインドが問題になっていることは認識している。教員の意識改革を含め、能力の底上げに引き続き取り組んでいきたい。
教育長	姫路では公立学校の教員が、GEG Himeji (Google Educator Group Himeji) という教員の勉強会を立ち上げている。自主的にchrome bookの使用法や指導方法の研究をしており、産休や育休明けの教員にも活用されている。
委員	姫路城世界遺産登録30周年を記念し、シンポジウムや研究会が開催されるとあるが、これを機会に、小・中・高校生が、姫路城や姫路のまちについて学習できる授業を実施して欲しい。また、修学旅行先として選択し、姫路に来て学ぼうと思える価値のある企画展等を考えてもらいたい。
事務局	観光スポーツ局のとりまとめで、全庁体制で30周年関連イベントを考えている。学校現場で授業に取り入れるのは、難しいかもしれないが検討したい。また、修学旅行生への学びの場の提供についても、委員のご意見を参考にさせていただきたい。

市長	30周年記念事業については、市民の皆さまも含めたオールひめじ体制を組んでいる。姫路城は、戦禍をのがれた平和の象徴であり、加西市、大分県宇佐市、熊本県錦町、鹿児島県鹿屋市とともに、空がつなぐ平和ツーリズムを実施しており、平和資料館にも修学旅行生が多数訪れてくれている。
委員	教員の多忙化解消とあるが、高校の産業医をしており、長時間労働の教員と面談すると部活動に関わられている教員が多い。2つの学校の部活動で一人の指導員が教える大阪の事例をテレビで見たが、姫路での取り組みを教えて欲しい。
事務局	スポーツ振興室と連携し、部活動の地域移行の準備をしている。指導者の受け皿が課題であるため、スポーツクラブ21等の地域団体と協議し、マッチングを進めている。
市長	少子化で子ども達のしたいスポーツができなくなる可能性があるので、複数校の部活動を統合することは検討に値するのではないかな。
事務局	段階的にはなるが、近隣の学校同士での合同部活動を考えている。子ども達がやりたい部活動をできる環境を整えたい。
委員	障害児特別支援については資料に記載がないが、現場では、多様化する子ども達への対応が行き届かない部分がある。援助が必要な子ども達に必要な支援がなされ、先生の負担が軽減され、皆がともに共存できる教育のための支援の充実をお願いしたい。
事務局	特別支援教育の充実については、非常に重要な課題であると認識している。